

# 平成28年度 りんご技術情報（第2号）

大崎農業改良普及センター  
TEL：0229-91-0726  
平成28年7月

## < 生育状況 >

本年の生育状況は、発芽期から満開期まで平年より早く推移し、その後も好天が続いたため、7月11日時点の果実肥大は良好で、果実の大きさは過去10年間で2番目に大きくなっています。

表1 平成28年度 果実の肥大状況（調査地点：色麻町）

品種		タテ径	ヨコ径
ふじ	本年(mm)	51.8	54.0
	平年(mm) 平年比	44.7 116%	46.7 116%

## < 病害虫情報 >

### ○発生予察情報（8月上旬までの発生予報）

表2 病害虫発生予報（宮城県病害虫防除所 平成28年7月7日発表）

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多	<ul style="list-style-type: none"><li>巡回調査の結果、新梢葉及び徒長枝における発生地点率は、平年よりやや多く、発病葉率は新梢では平年並、徒長枝では平年よりやや高かった。一部で発生程度の高い園地がみられた。（/±~+）</li><li>高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多い予報となっている。（/±~+，±~+）</li></ul>
キンモンホソガ	やや少	<ul style="list-style-type: none"><li>巡回調査の結果、発生量は平年よりやや少なかった。（/ー）</li><li>20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の気温は平年並または高い予報となっている。（/±~-）</li></ul>
ギンモンハモグリガ	少	<ul style="list-style-type: none"><li>巡回調査の結果、発生は確認されなかった。（/ー）</li></ul>
アブラムシ類	少	<ul style="list-style-type: none"><li>巡回調査の結果、発生量は確認されなかった。（/ー）</li><li>乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の降水量は平年並または多い予報となっている。（/±~-）</li></ul>

ハダニ類	やや少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回調査の結果，発生量は平年より少なかった。(／－)</li> <li>・高温乾燥が発生に好適であり，向こう1か月の気温は平年並または高く，降水量は平年並または多い予報となっている。(／±～＋，±～－)</li> </ul>
------	-----	--

注) 予報の根拠・・・(+)：多くなる要因 (±)：平年並になる要因 (－)：少くなる要因

## ○防除のポイント

斑点落葉病，褐斑病，輪紋病の重点防除時期となります。定期的に予防防除を行ってください。

### ・斑点落葉病

管内でも一部ほ場で病斑が確認されています。

高温多湿の気象条件により急激に症状が現れることがあるとともに，収穫時期まで常に発病の可能性があります。曇雨天が続く場合は，防除間隔が空きすぎないように，晴れ間を見計らって薬剤散布を実施してください。

不要な徒長枝を取り除き，薬剤が樹木全体に行き渡るよう管理してください。

### ・ハダニ類

管内でもほ場の一部で，スポット的に発生がみられています。

今後高温が続く場合には発生の急増に注意し，1葉当たり3頭以上寄生している場合は速やかに殺ダニ剤を散布しましょう。園内の除草作業（除草剤散布，草刈り）と殺ダニ剤散布日が近接する場合は，除草作業後に殺ダニ剤を散布してください。

宮城県では，平成28年6月6日から平成28年8月5日を農薬危害防止運動期間と定め，農薬の安全適正使用を推進しています。農薬使用の際には，以下の点に注意しましょう。

- 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう
- 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう
- 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう
- 農薬を保管する際には鍵をかけましょう